

# 運輸安全マネジメント2019年度コミットメント

私たち運輸事業者にとって輸送の安全確保、つまり「お客様を安全に目的地までお運びする」ことは、最も大切な基本です。2006年10月、運輸事業者について、経営のトップから現場まで一丸となった安全管理体制の構築、全社内の安全意識の浸透による安全最優先の風土の定着を図ることを目的として「運輸安全マネジメント制度」が導入されました。

弊社では制度創設以来取り組んでおります。自ら掲げた目標に対し**Plan・Do・Check・Action**の向上手法サイクルで実行して来ましたが、今年度もマンネリ化に陥らないよう、新たなる決意で「運輸安全マネジメント」が一層高いレベルに向上するよう、真摯に取り組む所存です。



**弊社の基本方針とスローガン**  
**基本方針 『法令遵守・安全第一』**  
**スローガン 『安全とサービスが信頼を生む』**

2019年度は、次に掲げる事項について取り組みます。

- (1) 社長を最高責任者として、運輸安全マネジメントの実践に努めます。
- (2) 基本方針に基づく「2019年度の目標」は、次の通りとします。
  1. 安全三原則（適正なスピードの保持・適正な車間距離の確保・安全の再確認）を励行し、「追突事故」及び「横断歩道上の事故」のゼロを目指します。
  2. バス停では、停車・発車に最大の注意を払い、「車内事故」のゼロを目指します。
  3. 車椅子のお客様・子供・お年寄りの降車時には「声かけ」を励行し、安全確保に最善を尽くします。
  4. 年間教育計画に基づいた運転士教育には、「車椅子乗降取扱い」を実施します。
  5. 9月、3月の社員健康診断の100%受診と要注意者には、「個別生活指導」を行います。
- (3) 社内の主たる場所に「基本方針」と「スローガン」を掲示します。
- (4) 緊急連絡網を再点検し、迅速・確実に行動できるよう、「模擬訓練」を実施します。
- (5) 内部監査する要員の「知見を向上させる」ため、関係機関の講習会を受講させます。
- (6) 運輸安全マネジメントの取組は適切に記録します。又昨年度(2018年)の内部監査結果は公表します。

2019年4月1日

帝産湖南交通株式会社

社長 大西 真澄